

# 老人クラブ二十一世紀プラン（中間報告）抜すい

## 新たな老人クラブづくりをめざす発展計画（21の目標）

（一九九五～二〇〇〇年）

### はじめに／老人クラブの

#### 現状と社会の変化

1 老人クラブの沿革と現状

老人クラブの誕生と組織化

老人クラブは、昭和三十七年に全国組織を結成したが、単位クラブが各地で誕生した昭和二〇年代から数えると約半世紀の歴史を刻んできました。

この間基盤組織である単位クラブは、地域単位の自主的な組織として着実に発展し、今日では全国約一万三〇〇〇クラブ、八六九万人の会員を擁する大きな組織に成長しました。

また、全国の市区町村に三三七二の連合会、都道府県・指定都市段階には五九の連合会が組織されています。

#### 活動の概要

その活動は、地域ごとの多様な自主活動を基盤として、健康をすすめる運動や各種のレクリエーション等の会員自身の楽しみや生きがいを中心としたものから、環境美化に取り組む「社会奉仕の日」や「在宅福祉を支える友愛活動」などの社会運動まで、幅広い取り組みに発展してきました。

「社会奉仕の日」（九月二十日）には、毎年全国で二五〇万人の会員がゴミの清掃奉仕や花づくりに参加し、また「友愛活動」は、高齢者が相互に支え合う活動として全国で多様な取り組みに発展しています。

#### 2 社会の変化

高齢者は年ごとに増加し、老人クラブが対象とする六十歳以上人口は、現在（平成六年）の二四八九万人から二〇〇〇年には二九三五万人に増えると予想されています。このなかで、ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯の大幅な増加も見込まれています。

わが国の就労構造からみると、就業者の八〇％はサラリーマンになり、農林水産業などの地域型の就労形態が減少し、地域の連帯や共同意識を低下させる一因になっています。

また、元気な高齢者の姿が目立つようになり、社会一般の高齢者観は援助の対象から社会の活力としての高齢者パワーに大きな期待が寄せられるようになってきました。

さらに長寿化の進展や生活水準の向

上のなかで、高齢者は積極的な姿勢の生活様式（ライフスタイル）をめざすようになり、価値意識が多様化しています。また、年齢を意識しない（エイジレス）指向が強まる傾向にあります。

一方、高齢者の年齢層も拡大し、社会活動にも一層の多様性がみられます。そこで、これらの変化をふまえた老人クラブ活動の新たな展開が求められています。

### 老人クラブ活動の意義と

#### 役割

#### 1 クラブ活動の意義

老人クラブは、多くの会員とリーダーの手で支えられ、継承されてきました。クラブ活動を通じて地域の高齢者はお互いに健康増進や予防対策に関心を高めることができ、共に旅行やスポーツを楽しむなかで、仲間づくりをし、孤立することなく、地域で支え合う基盤をつくりあげてきました。

これから一層進展する超高齢社会の状況を考えると、高齢者が互いに支え合い、励まし合いながら、楽しみを共にし、長寿の喜びを実感できる人間関係の醸成が

大切です。また、社会活動に積極的にチャレンジし、高齢者の持つ活力を生かした活動をすすめるようとする老人クラブは、明るく豊かな地域社会づくりに必要不可欠な存在として、その役割はますます大きくなっていきます。

2 老人クラブの特性、メインテーマ  
 なお、老人クラブが誕生して半世紀の間、脈々と維持・継承してきた特色・特性と全国に掲げるメインテーマは次のとおりです。

特 色 地域を基盤とする  
 高齢者の自主組織  
 三大特性 自主性・地域性・共同性  
 メインテーマ 創造と連帯の輪を広げて・心豊かな二十一世紀を

魅力ある老人クラブのイメージ  
 内にひらかれ、外にひらかれ、二十一世紀にひらかれた老人クラブづくり

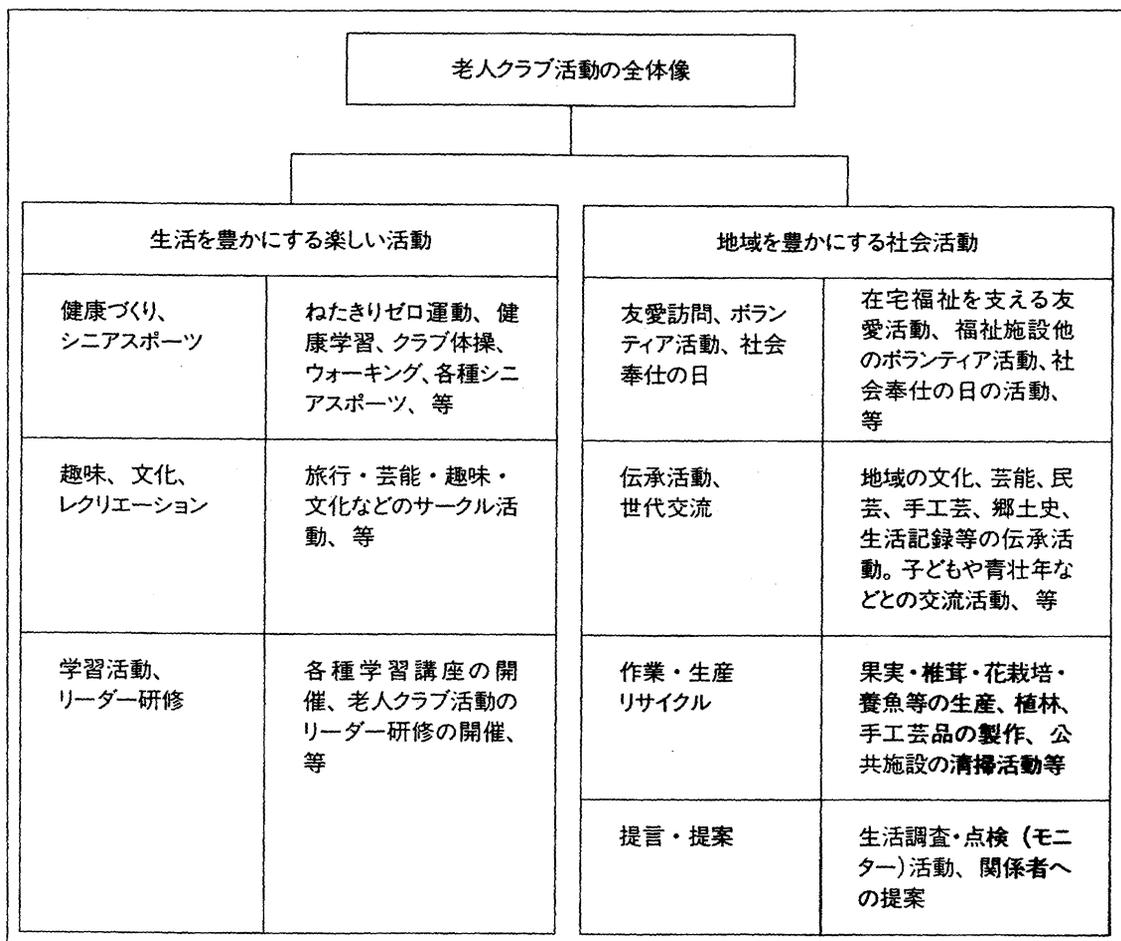
3 老人クラブの役割と全国運動  
 老人クラブは、二十一世紀に向けて次の三つの役割の担い手となることを目標としています。また全国三大運動として次の活動をすすめています。

三つの役割 新高齢者像づくり  
 地域の担い手  
 健康と福祉の推進役

全国三大運動 「健康・友愛・奉仕」

の活動  
 表参照)  
 二十一世紀をめぐす6つの  
 課題・21の目標  
 課題1 心とからだの健康づくりをすす

老人クラブ活動の全体像(左



める

〔健康活動〕

(目標1) 老人クラブ「ねたきゼロ」の10か条を実践しよう

ポイント ・ 全クラブに「健康づくりリーダー」の設置

- ・ 全連合会に「健康づくり委員会」の設置。

(目標2) 「いきいきクラブ体操」・「健康ウォーキング」・「各種のシニアスポーツ」を普及しよう

ポイント ・ 多数の会員が楽しく参加できるスポーツの普及

- ・ ビデオ、カセットテープ等の視聴覚機器を活用。
- ・ 「健康づくりリーダー」を中心に啓発普及。

課題2 高齢者が相互に支援する友愛活動をすすめる

〔友愛活動〕

(目標3) 全国100万人の友愛活動員

(ボランティア)を組織しよう

ポイント ・ 1クラブ1友愛チームづくり

- ・ 在宅福祉を支えるボランティアに取り組む。

課題3 「花のあるまちづくり」のまい

〔奉仕活動〕

(目標4) 全国300万人「社会奉仕の日」

(九月二十日)活動を展開し、通年活動の発展につなげよう

ポイント ・ 花いっぱい、清掃等の環境美化活動を見守りなど世代交流活動に広げる。

- ・ アイディアを生かした広報活動を展開する。

課題4 生活と地域を豊かにする楽しいクラブ活動を広げる

〔レクリエーション活動〕

(目標5) レクリエーション活動で楽しい仲間づくりをすすめるよう

ポイント ・ “遊び心”を仲間同士ではなくくみ、としこもりをなくす。

- ・ 高齢者と各世代が交流するレクリエーションプランを積極的に取り入れる。

〔サークル活動〕

(目標6) 一人・一趣味・一貢献のクラブ活動をすすめるよう

ポイント ・ 趣味、文化等の多彩なサークル活動を展開する。

- ・ サークル活動を社会活動に役立てる。

〔学習活動〕

(目標7) テーマを持つ学習、計画を持つ学習を展開しよう

ポイント ・ 新しい活動は、まず学習から。

- ・ 仲間と共にチャレンジする生きがい学習の開拓。

〔伝承文化活動〕

(目標8) 地域文化を「伝える・創る・保存する」活動に取り組もう

ポイント ・ 「伝承」の内容は会員同士や世代間交流から発掘

- ・ 高齢者の知識、経験などを町づくりに生かす。

〔作業・生産・リサイクル活動〕

(目標9) 「働く・作る・再生(リサイクル)する」活動をめざそう

ポイント ・ 会員の能力や技術・技能を掘り起こす。

- ・ 公共施設(公園や老人センター)等の清掃や管理に取り組む。

〔交流活動〕

(目標10) 「老・壮・青・少・幼」の各世代が連携協力する活動を心がけよう

ポイント ・ 高齢者が率先して連携を働きかける。

- ・ 各世代の得意分野を上手に取り入れる。

〔提言・提案活動〕

(目標11) 暮らしの課題を調査・点検(モニター)しよう

ポイント ・ 高齢者の暮らしの実態を調

べて、社会・行政等に提言、提案する。

・活動の基礎は、まず会員の実態や意向調査から。

〔安全活動〕

(目標12) 「高齢者事故死亡ゼロ」の記録づくりにチャレンジしよう

ポイント ・「会員の交通事故ゼロ」運動を展開する。

・家庭内事故、防火、防災対策を考える。

・「老人クラブ保険」をPRし加入を促進する。

課題5 はつらつとしたクラブづくりをすすめる

〔役員構成〕

(目標13) 高年、若手、女性のバランスのとれた役員構成としよう

ポイント ・内と外にひらかれたクラブ活動

・三者参画、三者協働のクラブ運営

〔若手育成〕

(目標14) 研修プログラムを体系化して後継リーダーを育成しよう

ポイント ・後継リーダーを対象とした研修を実施する。

・プログラムには計画性・実習・継続性を加味する。

〔広報・情報の収集と発信〕

(目標15) 身近な情報を集め、組織内外

へ広報(PR)しよう

ポイント ・機関誌「月刊全老連」のリーダー必携をすすめる。

・会員や地域をつなぐ手づくり広報誌の発行など情報発信に努める。

〔他団体・組織との連携協力〕

(目標16) 福祉団体や高齢者団体との連携協働をすすめるよう

ポイント ・定期的な交流や活動内容の相互理解に努める。

・活動や運動の協働化を推進する。

課題6 クラブ発展の基盤強化をすすめる

〔会員増強運動〕

(目標17) 全国一〇〇〇万人会員をめざそう

ポイント ・各老人クラブ段階で会員確保計画を立てる。

・地域になじみのつよいサラリーマンや転入高齢者へのPR、働きかけを考える。

・仲間のしるし「老人クラブ会員章」を着用する。

〔計画的・組織的運営〕

(目標18) 各連合会に女性委員会(部)を設置しよう

ポイント ・クラブ発展の年次計画を策定する。

・若手会員の運営への参画をすすめる。

〔活動拠点施設の確保〕

(目標19) 活動拠点施設(高齢者センター)等を確保しよう

ポイント ・単位クラブは例会会場の固定化に努める。

・連合会は事務局設置、活動拠点施設の確保に努める。

〔事務局体制の整備強化〕

(目標20) 都道府県・指定都市老連事務局体制の拡充と市区町村老連の専任・専従職員体制を確立しよう

ポイント ・都道府県・指定都市老連事務局職員最低五名体制

・市区町村老連事務局スタッフに若手・女性会員の参画。

〔財政の強化〕

(目標21) 会費の増額・基金づくりで自主財源を強化しよう

ポイント ・会員の標準会費月額三〇〇円をめざそう。

・活動強化を裏付ける財政プランを作ろう。